

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

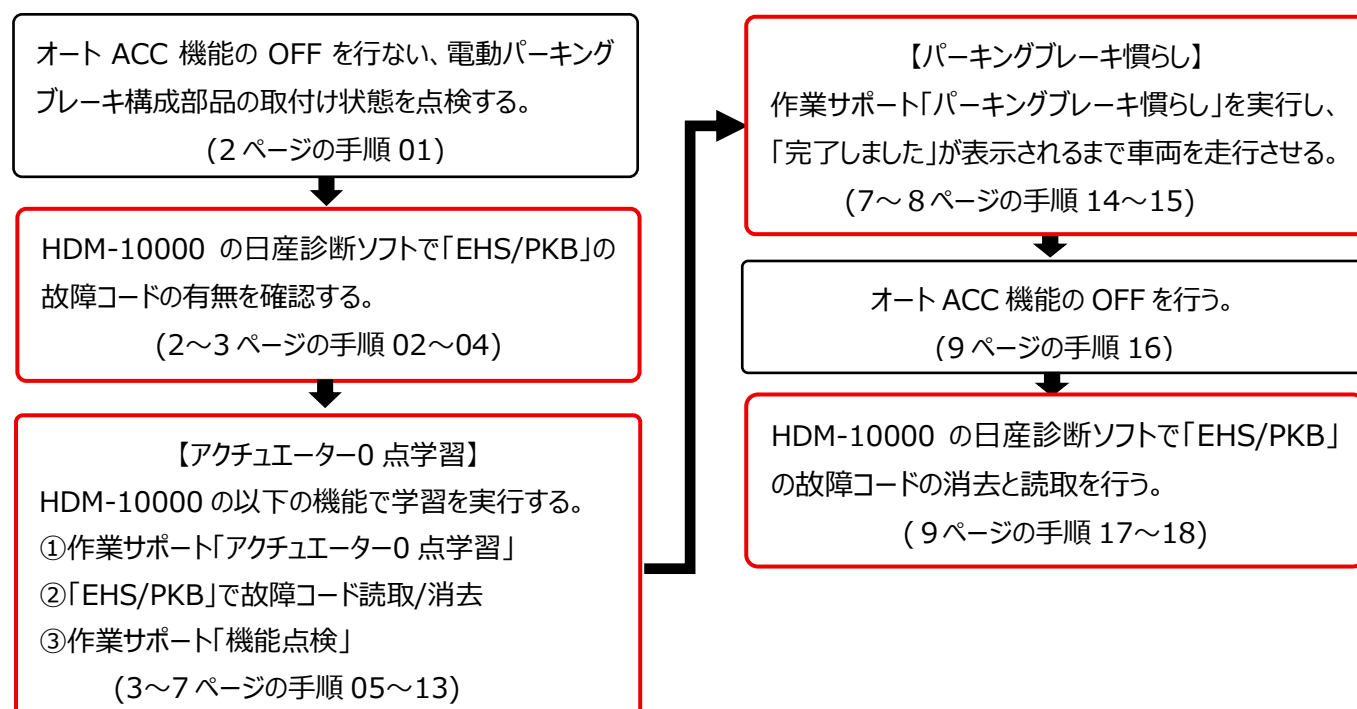
日産/電動パーキングブレーキのブレーキシュー交換後に行う「パーキングブレーキ慣らし」 (セレナ e-POWER/C27 での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.パーキングブレーキ慣らしについて

- 電動パーキングブレーキを採用している日産車のうち、パーキングブレーキシューを交換したあと「パーキングブレーキ慣らし」という作業サポート機能を使用する車両があります。
- 本作業サポート機能を実行するにあたっては事前に「EHS/PKB」の故障コード読取/消去と作業サポート機能「アクチュエーター 0 点学習」を行ってください。
- 本書ではセレナ e-POWER(C27)での操作例を紹介します。
- 「パーキングブレーキ慣らし」の手順は以下となります。



(次ページに続きます)

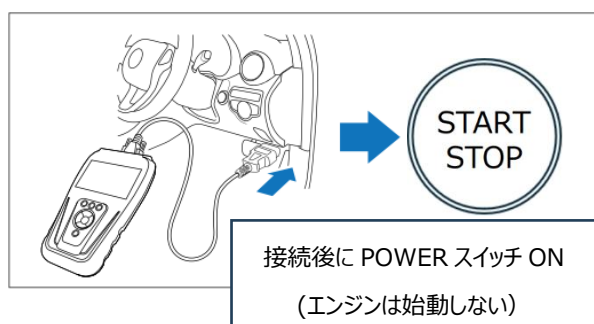
2.HDM-10000 による「パーキングブレーキ慣らし」

【手順 01:オート ACC 機能の OFF と電動パーキングブレーキ構成部品の取付け状態確認】

- ① 下記㉠～㉣の手順でオート ACC 機能の OFF を行ってください。
 - ㉠車両を停止させてください。
 - ㉡運転席ドアを開けた状態で POWER スイッチを OFF にし、運転席ドアを閉めて 3 分間待機してください。
- ② 電動パーキングブレーキ構成部品の取付け状態を確認してください。

【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ① HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ② 車両側 POWER スイッチを ON にしてください。
- ③ HDM-10000 メニュー内の「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 03:日産診断ソフトの起動から車両選択の実行まで】

- ① 「メーカー選択」が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択して ENTER キーを押してください。日産診断ソフトが起動します。



- ② 次に「車両選択」が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中…しばらくお待ちください」の表示に続いて「選択車両情報」が表示されます。内容を確認して ENTER キーを押してください。



※車両選択の各項目の詳細は 2026 年 2 月 6 日発行のバージョンアップ案内を参照ください。

(次ページに続きます)

【手順 04:EHS/PKB の故障コード読み取り/「異常なし」の表示の確認まで】

- ①「日産メインメニュー」が表示されたら「診断」を選択して ENTER キーを押し、「診断選択」で「システム別の診断」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「システム選択」が表示されたら「EHS/PKB」を選択して ENTER キーを押してください。「EHS/PKB」が表示されたら「故障コードの読取」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③「異常なし」が表示されることを確認してください。



【手順 05:アクチュエーター0 点学習①/HDM-10000 の再起動と特殊機能の実行】

- ①HDM-10000 本体上部のリセットキーを押してください。HDM-10000 が再起動します。
②HDM-10000 メニューが表示されたら「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 06:アクチュエーター0 点学習②/EPB 整備モードでのアクチュエーター0 点学習の実行】

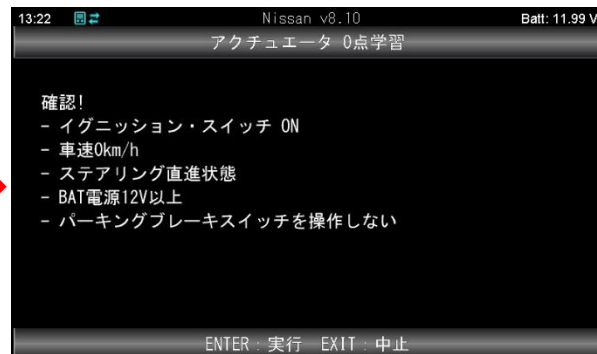
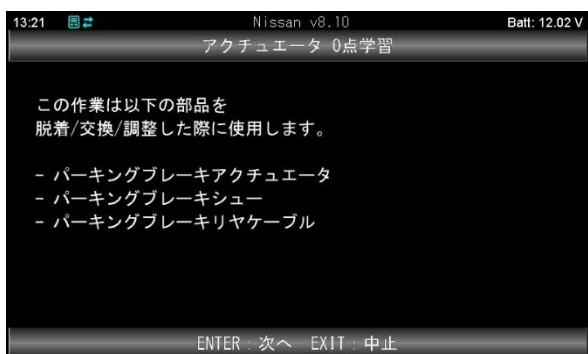
- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。



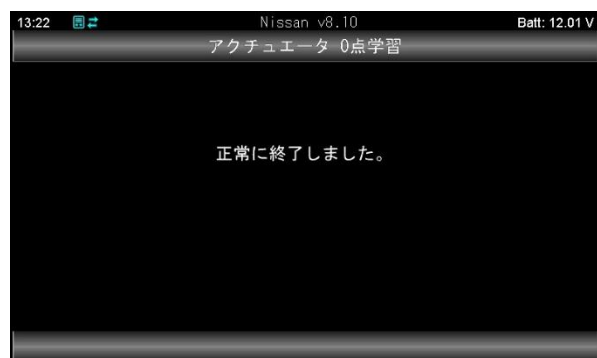
- ②次に「車両選択」が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「EPB 整備モード」が表示されたら「アクチュエーター0 点学習」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③機能の内容について説明する画面が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。次に実行条件が表示されるので内容を確認して ENTER キーを押してください。



- ④「学習中・・・しばらくお待ちください。」が表示されたあと「正常に終了しました」が表示されることを確認してください。



(次ページに続きます)

【手順 07:アクチュエーター0 点学習③/パーキングブレーキスイッチの操作】

- ①パーキングブレーキスイッチを引き、電動パーキングブレーキを作動させてください。
- ②パーキングブレーキスイッチを押し、電動パーキングブレーキを解除してください。

【手順 08:アクチュエーター0 点学習④/HDM-10000 の再起動と診断の実行】

- ①HDM-10000 本体上部のリセットキーを押してください。HDM-10000 が再起動します。
- ②HDM-10000 メニューが表示されたら「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 09:アクチュエーター0 点学習⑤/故障コードの有無の確認】

2～3 ページの手順 02～04 を参照して HDM-10000 を操作して「EHS/PKB」の故障コード読取で「異常なし」が表示されることを確認してください。



【手順 10:アクチュエーター0 点学習⑥/HDM-10000 の再起動と特殊機能の実行】

- ①HDM-10000 本体上部のリセットキーを押してください。HDM-10000 が再起動します。
- ②HDM-10000 メニューが表示されたら「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 11:アクチュエーター0 点学習⑦/EPB 整備モードでの機能点検の実行】

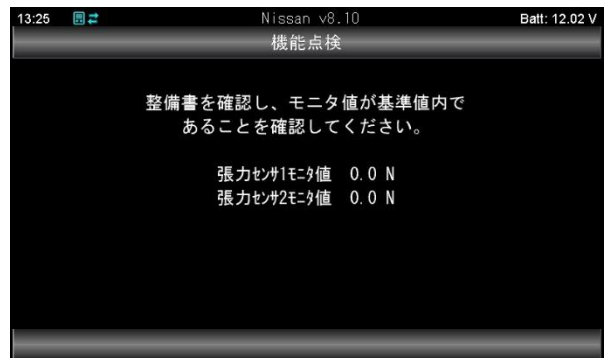
- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②次に「車両選択」が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「EPB 整備モード」が表示されたら「機能点検」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③画面に「張力センサ 1 モニタ値」「張力センサ 2 モニタ値」が表示されます。
それぞれの値が整備解説書に記載された基準値内か確認してください。



【手順 12:アクチュエーター0 点学習⑧/HDM-10000 の再起動と診断の実行】

- ①HDM-10000 本体上部のリセットキーを押してください。HDM-10000 が再起動します。
②HDM-10000 メニューが表示されたら「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 13:アクチュエーター0 点学習⑨/故障コードの消去と読取】

- ①2～3 ページの手順 02～04 の②までを参照して「EHS/PKB」が表示されたら「故障コード消去」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「自己診断の消去」が表示された ENTER キーを押してください。次に「消去完了」が表示されたら ENTER キーを押してください。



- ③「EHS/PKB」で「故障コードの読取」を選択して ENTER キーを押してください。次に「異常なし」が表示されることを確認してください。



【手順 14:パーキングブレーキ慣らし①/HDM-10000 の再起動と特殊機能の実行】

- ①HDM-10000 本体上部のリセットキーを押してください。HDM-10000 が再起動します。
- ②HDM-10000 メニューが表示されたら「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 15: パーキングブレーキ慣らし②/EPB 整備モードでのパーキングブレーキ慣らしの実行】

- ① 特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。

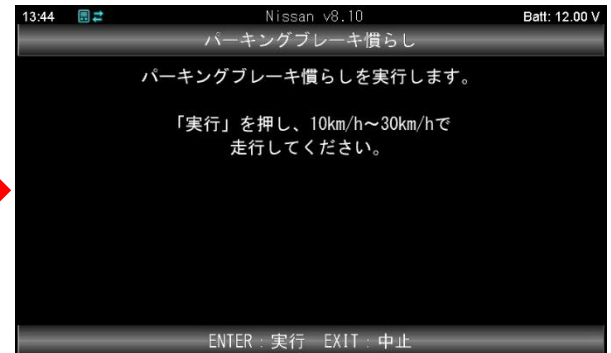
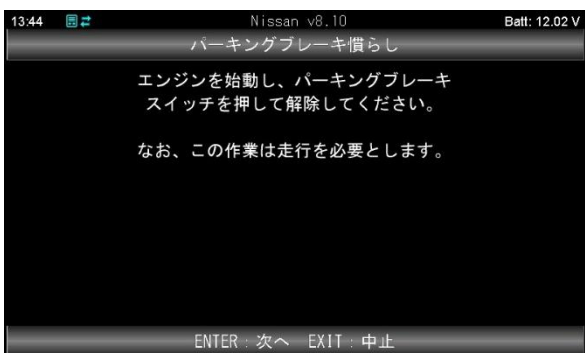


- ② 次に「車両選択」が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「EPB 整備モード」が表示されたら「パーキングブレーキ慣らし」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③ 機能の内容について説明する画面が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。次に手順と実行条件が表示されるので内容を確認して ENTER キーを押して走行を行ってください。

※表示画面を見ながらの走行は危険ですで行わないでください。



- ④ 「実行中」から「完了しました」に表示が切り替わったら車両を停止させてください。



(次ページに続きます)

【手順 16:オート ACC 機能の OFF】

下記①～②の手順でオート ACC 機能の OFF を行ってください。

- ①車両を停止させてください。
- ②運転席ドアを開けた状態で車両の POWER スイッチを OFF にし、運転席ドアを閉めて 3 分間待機してください。

【手順 17:HDM-10000 の再起動と診断の実行】

- ①車両の POWER スイッチを ON にしてください。
- ②HDM-10000 本体上部のリセットキーを押してください。HDM-10000 が再起動します。
- ③HDM-10000 メニューが表示されたら「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 18:故障コードの消去と読取】

7 ページの手順 13 を参照して「故障コード消去」と「故障コード読み取り」を行い「異常なし」が表示されることを確認してください。



(2026.05.22 発行)